

選挙啓発ポスターコンクール



選挙で未来を育てよう

今年度の「明るい選挙啓発ポスターコンクール」で、角館高校1年の佐藤実結さんが最高賞の「文部科学大臣・総務大臣賞」を受賞しました。

12月8日には、同校で賞状の伝達式が行われ、佐藤さんに仙北市明るい選挙推進協議会の藤原剛会長から賞状と記念品が贈られました。

佐藤さんが考えた標語は「選挙で未来を育てよう」。



藤原会長(右)から賞状を受け取る佐藤さん(左)。「受賞できて、とてもうれしい」と話しました。

絵は、青い鳥が雛を投票箱で育て、未来へ羽ばたくという物語をポスターで表現しています。

地域おこし協力隊員が着任

観光客の受入に力注ぐ

仙北市で2人目となる地域おこし協力隊員の袴田誠さんが12月1日、着任しました。

袴田さんは、西木庁舎の農山村体験デザイン室に籍を置き、国際交流やグリーンツーリズムなどのサポートを担当します。

静岡県出身の袴田さんは、協力隊として着任する前、長野県の長野市で宿泊施設に勤めながら、安曇野市に通い自然農法を学んでいました。



地域おこし協力隊員2人目となる袴田さん。観光客の受入を全面サポートします。

「以前から国際交流やグリーンツーリズムに興味があった。仙北市の魅力発信し、国内外からの観光客の受入に力を注ぎたい」と袴田さんは話しました。

仙北市身体障害者福祉大会



和やかに親睦深まる

12月2日、仙北市身体障害者福祉大会が、西木温泉クリオンで開催されました。この大会は身体障害者の自立と社会参加を促し、仙北市身体障害者協会の会員の親睦を深めようと毎年開催しているものです。

始めに同協会の発展に尽力いただいた方々への表彰が行われ、たあと、男鹿市のアマチュア漫談師・人星亭喜楽駄朗さんが「元気に生きていくには！」をテーマに講話。



人星亭喜楽駄朗さんの笑い満載の講話に、会場の参加者からは笑みがこぼれていました。

マに講話。小道具などを用いたお笑いネタを披露し、会場に集まった35人からは大きな笑いがあふれていました。

伝承芸能で角館高校が最優秀賞



全国の舞台へ躍進

11月22日、「郷土芸能・日本音楽合同発表会」が秋田ふるさと村ドーム劇場(横手市)で開催され、伝承芸能部門で角館高校の飾山囃子部が最優秀賞を受賞しました。毎年開催されるこの発表会に、今年は県内の高校から9校が出場。15分の持ち時間を、その地域に伝わる郷土芸能を披露しました。

角館高校の飾山囃子部は「角館祭りのやま行事」で囃される



今回の受賞で7月に広島県で開催される全国大会への出場が決まった飾山囃子部の皆さんと指導にあたる藤原ミサ子さん(最後列右端)。今後さらなる大きな目標を目指します。

飾山囃子を中心とした踊りや演奏を堂々と披露し、審査員から高い評価をいただきました。



2016 FIS FREESTYLE SKI WORLD CUP

TAZAWAKO・AKITA

Supported by TDK

2016 FIS フリースタイルスキーワールドカップ秋田たざわ湖大会
Supported by TDK

2/27 土 モーグル予選・決勝

2/28 日 デュアルモーグル予選・決勝

FISフリースタイルスキーワールドカップが再びたざわ湖スキー場で開催されます。ワールドカップは世界各地を転戦して行われるシリーズ戦で、毎年10戦前後行われます。昨シーズン同様、秋田たざわ湖大会では1人ずつ滑走するモーグル(第7戦)と2人同時に滑走するデュアルモーグル(第8戦)の2種目が行われます。今号では、より楽しく観戦できるように、モーグルの基礎知識をご紹介します。

モーグルのルール

モーグルは、フリースタイルスキー競技の一つで、シングルもデュアルもコブ斜面を滑り降り、そのターンの技術(ターン点)、エアの完成度(エア点)、速さ(スピード点)の3つを合算した結果で勝負が決まります。

どんなに速くても、あるいはエアの完成度、難易度が高くて、ターンに乱れがあると必ずしも高得点をえられる訳ではありません。上位に来る選手は3つのポイントどれもが高得点でバランスが取れています。



モーグルの採点

7人の審判員(ジャッジ)制で、ターンは5人、エアは2人で採点され、スピードは計測タイムにより算出されます。

- ターン点 ... 60点満点(全体の60%)
 - エア点 ... 20点満点(全体の20%)
 - スピード点 ... 20点満点(全体の20%)
- 合計100点満点

デュアルモーグルの採点

ターン4人、エア2人、スピード1人のジャッジが各5点の持ち点を2選手に振り分け勝負を決めます。

全日本スキー連盟A級公認
2016フリースタイルスキー
秋田・田沢湖モーグル競技会 開催!

2/6 土 モーグル予選・決勝(男女)

2/7 日 デュアルモーグル予選・決勝(男女)

会場 たざわ湖スキー場 黒森山モーグルコース

【お問合せ】
FISフリースタイルスキーワールドカップ
秋田たざわ湖大会組織委員会事務局
(仙北市教育委員会 スポーツ振興課内)
☎ 43-3390 E-mail akita.tazawako.oc@gmail.com

全県ジュニア バドミントン大会

12月6日、「第18回全県ジュニアバドミントン選手権大会」が由利本荘市総合体育館で行われ、市内スポーツ少年団の選手が活躍しました。

主な成績は次のとおり。(敬称略)

- | | | |
|-----------|-----|------|
| 6年男子ダブルス | 準優勝 | 三浦悠 |
| 3年男子シングルス | 準優勝 | 武藤佳輝 |
| 3年女子シングルス | 準優勝 | 加藤紗菜 |
| 2年男子シングルス | 3位 | 三浦剛貴 |



好成績を収めたスポーツ少年団の皆さん。



田沢湖庁舎に報告に訪れた入賞者の皆さん。前列左から藤枝誠さん、小玉均さん。後列左から松崎政志さん、草薙竹夫さんの代理・福雄さん、佐藤一也さん。門脇光浩市長。

JA秋田おぼこの「第9回おいしいお米コンクール」の表彰式が11月

JA秋田おぼこがおいしい米作り農家を表彰

25日、大仙市で開催され、「おぼこの匠」に仙北市から銀賞を受賞した藤枝誠さん(角館町)と小玉均さん(角館町)が選ばれました。

このコンクールは、米の食味向上を目的に毎年実施しているもので、今年は組合員1315人が応募。成分分析や食べ比べなどの審査を行い、10農家が「匠」に認定されました。

また、ゆめおぼこの作付けを奨励する「第5回ゆめおぼこ日本一コンテスト」の結果も発表され、仙北市から草薙竹夫さん(田沢湖)が金賞を、松崎政志さん(田沢湖)、佐藤一也さん(西木町)が入賞しました。

新

仙北市に心強いパートナーが就任 観光大使に中尾彬氏・池波志乃氏

12月14日、俳優の中尾彬・池波志乃ご夫妻が、仙北市観光大使に任命されました。

これは、7月19日に仙北市で開催された地方創生シンポジウムへの出席がきっかけで、仙北市観光大使への就任をお願いしたところ、お二人から快諾いただき実現したものです。

中尾彬氏は、秋田には「雅」という印象を持っていて、「秋田の人は、奥ゆかしさの中に気品があり、特に冬の秋田が好き。四季がはつきりとした『日本の美



田沢湖に生ハム工場を持つ東京赤坂のレストランで観光大使の任命式が行われました。右から中尾彬氏、門脇光浩市長、池波志乃氏。

しい故郷』と感じている。また、食べ物も美味しいのも魅力」と話しました。池波志乃氏は、「私自身は生まれも育ちも東京ですが、秋田は私の第2の故郷と感じています。特に温泉が好きで、東京からの距離についても遠さを感じない」と話しました。

中尾彬・池波志乃ご夫妻は、「私たちが感じる秋田の魅力を任命前から発信していたが、これまで以上に訪れる機会を増やし、より一層その魅力を伝えていきたい」と抱負を語りました。



任命式終了後、中尾彬氏と池波志乃氏は、会場付近にいたお客さんに対し「本日、仙北市の観光大使に任命されました」と、名刺を配りながら、早くも仙北市の観光PRに努めていました。

12月1日WHOいのちの日



いのちの大切さ呼びかける

12月8日、傾聴ボランティア「えくぼの会」と仙北市ふれあいサポーター養成講座参加者、市職員が、「12月1日WHOいのちの日」にちなみ、自殺予防キャンペーンを行いました。

このキャンペーンは、グラマート田沢湖店、タカヤナギワンダーモール店、ビブレ田沢湖店の協力をいただき、「おとうちゃん眠れている？」と印字されたトイレットペーパーやパン



店頭では、心の健康と自殺予防について、買い物客に一生懸命呼びかけていました。

フレットなどを店頭で配布したもので、買い物客に心の健康と自殺予防を呼びかけました。

元気はつらつ介護予防講演会



元気の源は笑いにあり

11月18日、角館榊細工伝承館で、市包括支援センター主催の介護予防講演会が行われました。

この講演会は、介護状態の予防を目的に、いつまでも元気に過ごしてもらおうと毎年開催しているものです。

今年は本県のローカルテレビ・パリトン伊藤さんが自身の体験談を交え、笑いあり涙ありのお話をしました。参加者からは、「介護は特別なことではな



秋田の方言たっぷりに話すパリトン伊藤さん。会場は大きな笑いに包まれていました。

いと感じた」「とてもユーモアがあつて楽しく聞くことができました」などの感想が寄せられました。

クリスマスおはなし会



一足早いクリスマス

12月5日、仙北市総合情報センター・学習資料館で、おはなしボランティア「うさぎのみみ」の皆さんによる「クリスマスおはなし会」が開催されました。

この日集まった子どもたちは、絵本の読み聞かせやエプロンシアター、手品など盛りだくさんの内容に、笑ったり驚いたりして、楽しい時間を過ごしました。

最後に、少し早いクリスマス



毎月第1土曜日に仙北市総合情報センター・学習資料館では「おはなし会」を行っています。

プレゼントを受け取った子どもたちは、歓声を上げながら目を輝かせていました。

角館西保育園で出前餅つき



つきたてのお餅に感激

12月15日、角館西保育園で平成縄縄塾(菅原誠晃塾長)の皆さんによる餅つきの出前講座が行われました。

この催しは、同塾の高橋英美事務局長の発案で「第1回全国縄縄競技大会」を契機に始めたもので、今年で7回目になります。餅米などの材料は毎回すべて高橋さんが提供し、今年は餅米18kgと大福用のイチゴやきな粉、ゴマなどを用意したそうです。



園児たちは餅つきに大喜び。「よいしょー」のかけ声が響きました。

この日を楽しみにしていた園児たち53人は、代わるがわる餅つきを体験し、つきたてのお餅でイチゴチョコ大福を作ったり、きな粉やゴマをつけたりして美味しく食べました。